

真砂地区地域運営委員会の活動状況並びに課題

1. 発足経緯と活動状況

① 平成28年3月6日(日) に 設立総会を開催し、地域運営委員会が発足した。

- ・役員： 会長 1 副会長 2 事務局長 1 会計 1 幹事 1
 理事 9 計 15 名
- ・会議 総会 定例会
- ・構成 構成団体 ・ 協力団体

② 従来のコミュニティづくり懇談会の内部に「設立検討準備会」を設け検討を行ってきた。この度、同 懇談会の事業内容を発展させていく意味合いでとらえ、同懇談会を解散し引き継ぐ形で「委員会」発足となった。

③ 従って 委員会設立の基本の5団体に加え、老人会と交通安全協会が設立時の構成員とした。（* 5団体：地区連、社協、民児協、社体、育成）

④ 今後は隔月を原則に、定例会を開催し、進行を図る

2. 今後の活動計画

- ① 地域カルテを参考にした分析と地域課題抽出及び解決法の模索
- ② 各団体の課題抽出と団体検討会（アンケートの活用）
- ③ 課題処理・解決技法のレベル向上（ワークショップ、学識経験者等による研修会）
- ④ 活動業務の定着（拠点活用を含む）と目標設定に向けた進捗管理(中期)
- ⑤ 次年度団体連携並びに地域運営交付金配分案の検討

3. 運営上の課題

- ① 議題の検討内容・決定事項など情報の共有化を図るも、傘下各団体の末端まで周知徹底がされなければ効果が期待できない。広報の意味合いが大事になるが、いい工夫がないか。
- ② 会議には多くの人が貴重な時間を費やすことになる。会議内容が実のあるようにするには、日程・資料・連絡・進行・議事整理など事務局の負担が大きいことが予想される(現)。要領のよい事務運営の対策の検討が必要。
- ③ 自地区では、拠点が確保されそうですが、光熱費などの実費がかかることになる。折角 運営補助金を戴いても それ以上に 費用が掛かっては 本末転倒では？
- ④ 構成団体がコミコンの横滑りであるため、地域のコミュニティ社会を見直した場合 地域を反映しているかどうか検討する必要。新規の構成団体の加入検討。

4. 解決の方向性

自地区では、地域運営委員会が発足したばかりであり、地域を分析し 期待されるあり方にいかに近づき解決に結びつけるか、話し合いの中で試行錯誤を続けることになると思われる。我々自身が自律的に行動すると共に 先行する 諸地区も参考にし 目標の実現に向けて 息長く あきらめず 努めていきたい。